

**第 6 回子供の未来応援基金
事業報告書**

**地域で子どもを守る！
ふくおかこども食堂ネットワークの基盤整備事業**

**令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで
ふくおかこども食堂ネットワーク**



子供の未来応援国民運動

地域で子どもを守る！ふくおか子ども食堂ネットワークの基盤整備事業

事業概要

子ども食堂・子どもの居場所が、コロナ禍で開催が難しくなったことに加え、食品の配布をするにも資金・人手不足で閉鎖するところも出てきた。この危機的状態の下、昨年9月に福岡市及びその近郊の子ども食堂で、ふくおか子ども食堂ネットワークを立ち上げた。地域での見守り機能を果たす重要な役割を担う子ども食堂・子どもの居場所が安定的に開催され、活動がより充実したものとなるよう、ふくおか子ども食堂ネットワークの基盤整備を行うこと目的とし、①子ども食堂・子どもの居場所への食品を集荷・配送するインフラの整備、②参加団体同士の情報交換、③当団体の広報活動、④子どもたちへの体験的学習の紹介を行う事業を行った。

事業の目的と必要性

子どもの貧困の中、地域の大人たちは自費で子ども食堂を始め、福岡市では約50団体強となった。子ども食堂は地域での見守り機能を果たし、児童相談所等へと結びついていく最中、昨年からのコロナで中止が余儀なくされた。しかし、児童相談所への相談件数は上昇し続け、子どもの危険度は増している。子ども食堂は、お弁当・食品配布に踏み切ったが、資金的・人的な理由で閉鎖をするところが出始めた。それは、子どもたちの危険へと直結している。行政が子どもの生活実態を十分に把握できない現状では、子ども食堂・子どもの居場所は必須であり、活動を持続的に行う体制作りは必要である。子どもたちが毎日を安心してすごせる地域社会を創りたい。

事業実施の方針

福岡市では子ども食堂が始まって、約8年たつ。どことして同じ子ども食堂はなく、「自分ができること」を「続ける」ために、それぞれの子ども食堂は工夫をしている。子どもたちの命や健康的な育成に純粋に向き合い、見返りを期待することなく、体を動かすことをいとわない姿には、心から頭が下がる。こうした方々の子どもたちを思いやる気持ちは、温かい食事にリンクをしている。

子どもたちの明るい未来を開くという同じ方向を向く仲間として、本助成金で、備品を整え、基本的な仕組みを作り、励ましあい、学びあうことを行った。さらに、子どもたちの心を癒すため、オンライン等を利用した体験学習を行った。

ふくおか子ども食堂ネットワーク

代表 雪田 千春

目次

1.子ども食堂・子どもの居場所への食品を集荷・配送するインフラの整備	1
2.参加団体同士の情報交換	1
3.団体の広報活動	5
4.子どもたちへの体験的学習の紹介を行う事業	5
5.子ども食堂への満足度調査結果	8

総括

当団体の事業は、①食品を集め、届ける、②子ども食堂同士の情報交換を行う、③資金の調達、④子ども食堂・子どもの居場所を豊かにするための、子どもの体験的学習の、4つである。今回の助成金により、この全てにおいて、活動の基盤整備を行うことができた。心よりお礼を申し述べたい。徐々に子ども食堂も集まってきており、食品やボランティア提供をしたい企業からの申し出も増えてきている。しかしまだ、入り口に立ったばかりである。今後の社会情勢を考えると、地域の子どもは地域で見守っていく姿勢がより必要となるし、そのための地域の状況にあった体制づくりが求められていく。コロナが明けつつあり、地域の活動も今後活発化してくるだろう。ここで行った事業を大事に育て、これから求められる活動へと拡大・定着させていきたいと思う。子どもたちは、私たち大人がすることをちゃんと見ている。その気持ちにこたえていきたい。そうして、「大人になるって、そう悪くないな」と、人生を肯定的に見てくれるとうれしい。

1. 子ども食堂・子どもの居場所への食品を集荷・配送するインフラの整備

○毎週3回の活動を行い、週2回子ども食堂へ配送を行った。

活動回数：週3日×50週＝150日 / 目標 150日

配送日数：94日、(1日のうちで倉庫への往復) 配送回数 188回 / 目標 100日・100回

○冷凍冷蔵庫の購入により、すべての温度帯の食品を扱えるようになった。

○倉庫管理者を置き、倉・庫の入出庫のトレーサビリティ管理、配送スケジュールを立てて活動を行った。

○荷物搬送のため、台車やかご車を購入し、作業効率を上げることができるようになった。

○パソコンおよびプリンターを購入し、食品の管理や、子ども食堂への連絡対応、資料作成・印刷ができるようになった。

○年間の食品取扱量は、8,027.45Kg、180,040食

○登録団体数は、64団体 / 目標 50団体



2. 参加団体同士の情報交換

○年3回の、参加団体同士の情報交換を行った。

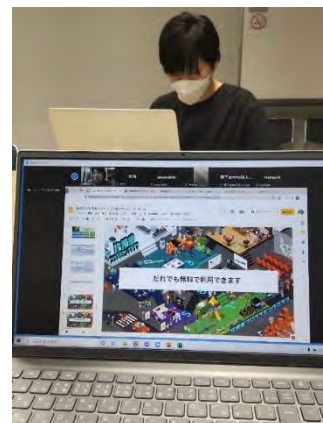
第1回 6月14日(火) 活動紹介、お知らせ、情報交換。12名参加、うち2名オンライン。

第2回 11月16日(水) 一般社団法人 Kids Code Club (キッズコードクラブ) 主催石川麻

衣子氏による、プログラミングを活用した子どもの居場所づくり、情報交換。12名参加、うち6名オンライン。

第3回 2月1日（水） 福岡市ヤングケアラー相談室・宮崎氏による、「家族のケアをする子どもたち」ヤングケアラーについて研修、情報交換。10名参加、すべてオンライン。

- ・オンラインでの音声改善のため、オンライン用機器の購入を行った。



○シンポジウムの開催

8月16日（火）シンポジウム開催。「だからやりたい！子ども食堂」。42名参加（子ども食堂関係25名、それ以外10名、当日参加7名）

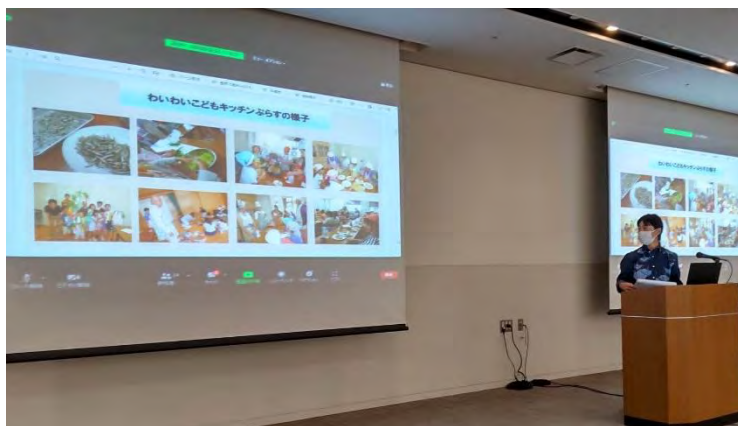
基調講演「子ども食堂の役割～居場所づくり活動を通して」 NPO法人ゆい 理事長 高木美穂子 氏

パネルディスカッション これからの子ども食堂

事例紹介 こころふくよか 西島 里美 氏

スクールソーシャルワーカー 梶谷 優子 氏

モデレーター ふくおかこども食堂ネットワーク 代表 雪田 千春



8/16 (火) 参加者募集 ふくおかこども食堂ネットワークシンポジウム
だからやりたい！子ども食堂
 オンラインも可！

国で子ども食堂が増えてきたのは、ほかに、
 国で子ども食堂が増えてきたのは、ほかに、
 子ども食堂は、子ども食堂は、どう関われば、
 国で子ども食堂が増えてきたのは、ほかに、
 子ども食堂は、子ども食堂は、どう関われば、
 国で子ども食堂が増えてきたのは、ほかに、
 子ども食堂は、子ども食堂は、どう関われば、

開催日 8月16日（火）
 時間 14時～15時半（受付13:30～）
 参加料 無料 / 定額の席（有料）あり
 会場 共創館 カンファレンスA（福岡市中央区天神1-4-2）
 内容 基調講演 子ども食堂の役割～居場所づくり活動を通して
 NPO法人ゆい理事長 高木美穂子氏
 パネルディスカッション これからの子ども食堂
 事例紹介 こころふくよか 西島里美氏
 スクールソーシャルワーカー 梶谷優子氏

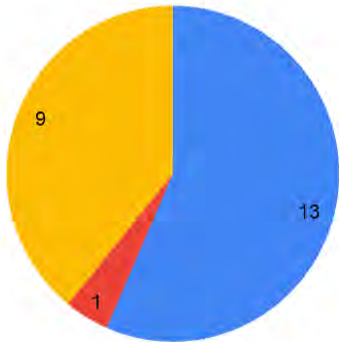
※申し込みは、ふくおかこども食堂ネットワーク事務局へ
 ※本席は、ふくおかこども食堂ネットワーク事務局へ
 ※申し込みは、ふくおかこども食堂ネットワーク事務局へ

主催：ふくおかこども食堂ネットワーク
 E-mail: fukuoka-net@vodafone.ocn.ne.jp
 FAX: 092-407-8667

申し込み用紙
 氏名
 住所
 電話番号
 E-mail
 申し込みの目的
 申し込みの時期
 申し込みの場所
 申し込みの人数
 申し込みの金額
 申し込みの備考

<シンポジウムアンケート調査>

1.本日のシンポジウムの満足度を教えてください



- とてもよかった
- やや不満
- よかった

「やや不満」の理由として、電波環境が悪かったため、音声や画像が途切れたなど、内容ではなく、インターネット環境の理由によるものであった。

2.その理由は何ですか？

それぞれの活動状況や思いを知ることができ、とても勉強になりました。
地域での子どもの居場所作り、に何かの形で協力したいと思っているからです。
現場で活動されている方のリアルな様子や問題点などが聞けたので。
立ち上げて 公民館に賛同も得て 出発しようと準備治癒 コロナ禍となり 1度も開催出来ずに食品配布会のみとなっています。今日知った空き家バンクなど多くの情報が得ることが出来ました。本当にありがとうございました。でもこの活動を長く続けていくにはやはり 助成金などに頼らずできる方法を講じてゆかなければならないと 切に思っており事業を立ち上げたいと思っています。 共同で立ち上げることが出来ないかとも考えています。
運営する側、支える側、地域（学校）の連携が見えたことが良かったです。それぞれの運営で、悩んでいることや運営する人のサポートが大事であることも改めて気付きました。事例も聞くことができ、コロナ禍での大変さも共感することがありました。
実際の運営について詳しく聞くことができたので。
資料がよくまとめられていた
日頃は、ボランティア参加で終了のため あっという間なのですが、今日は他の方たちの活動や子ども食堂の課題・皆さんの熱い思いをお聴きでき、とても有意義だったため。
普段は関わることのできない食育に関する活動をされている多種多様な方々と一緒にセミナーを受けさせて頂き、同世代間では学ぶことの出来ない学びを得ることができました。
私達が抱えている問題点はどこの活動にも共通点だと言うこと等
皆さんの熱意が伝わり、私も初心に戻って頑張ろうと思いました。
居場所作りの大切さを学びました。
すでに実践されていらっしゃる方の、苦悩や苦勞の先にある、やってよかったなエピソードが聞けたこと。
リモートではなく、対面で聞けたら良かったです。
他の子ども食堂の情報を知ることができた
多くの場所づくりの実践や思い、考え、今後子ども食堂等の実施において、とても学びになったため。

他の団体の問題点が知れてよかった
子ども食堂の共通の課題が見えた
リアルな活動の様子をなかなか聞く機会が少ないので、貴重なお話ありがとうございました。
今まで知らなかった世界を見ることができました。 ただ、子ども食堂のイメージ、人材、資金の問題点があると思いました。
他の子ども食堂のお話を、聞くことで勉強になります。 参考になったことは、我がこども食堂にも生かして行きたいです。
子ども食堂にかかわっている方々の、生の声が聞けたから。

3.今後取り上げてほしいテーマは何ですか？

主宰者側のお話はよく伝わったので、今度は食堂に来ている子供たちの生の声（アンケートなどあれば）を聞いてみたいです。
◆各区の行政、フードバンク、企業などの取り組み、連携をしてくださる方と方向性。（運営する側、支える側）◆学校と地域との繋がり（どこまで関わっていいのか、リサーチの仕方）
一般の方は子ども食堂をどのようにとらえているか？どなたでも利用できる宣伝方法は？
コロナ禍における子ども食堂の形の変化について知りたいです
メニューの工夫(レシピ) など
今回のような実践されている方のお話（人・資金・場所など）
スタッフ確保の工夫 ヤングケアラー等 困難を抱えている子供・若者への対応
子ども食堂や子どもの居場所を実施する上での相談会など
自治会・民生委員
子ども食堂のマネタイズ、ファンドレイジングについて
人の育成について（スタッフ） 課題がここにあると思うので

3.団体の広報活動

○ホームページの作成

念願のホームページが完成した。フェイスブックと連動させ、活動が見られるようになった。

URL <https://www.fkodomocafe.net/>



○フェイスブックへの活動アップ

37日・78回／ 目標 150回

○ボランティア募集

74人 / 目標 50人

4.子どもたちへの体験的学習の紹介を行う事業

年間を通じて募集したものの、ほとんど応募がなかった。原因として、コロナ禍で公民館の利用ができない地域が多数あることがあげられる。現在でも利用できない区がある。(令和5年4月現在)

数は少ないものの、実行することができた場所では大変評判がよく、「こうしたものなら、やっ

てほしい]「今度はいつするのか?」という、公民館長・主事からの意見であった。

37人 / 目標 50人×3箇所×7ヶ月=1,050人

1) オンライン工場見学

・1回 9人

株式会社ニチレイフーズにご協力いただき、オンライン工場見学を行った。オンラインでの事業が始まる矢先であったこともあり、打合せには小学校の教頭先生にもご参加いただいたの開催となった。子どもたちは普段知ることのない食品会社の起業の在り方や、工場内部について知ることができた。活発に具体的な質問を行い、担当者もびっくりしていた。最後は、ご提供いただいた今川焼を食べながら、担当者と子どもたちで感想を述べあった。



担当者への質問に、手をあげる子どもたち。

2) オンラインフラワーアレンジメント

・2回開催（うち、1回分の委託費を拠出） 拠出対象事業 15人参加

文化庁認定許可教授鳳馨流副家元である中島秀峰先生に依頼し、オンラインでフラワーアレンジメントを行った。現場には、お弟子さんたちが来られ、花や花材の準備、使用するはさみなどのセッティングをしていただいたほか、体験中の細かいアドバイスを子どもたちにしていた

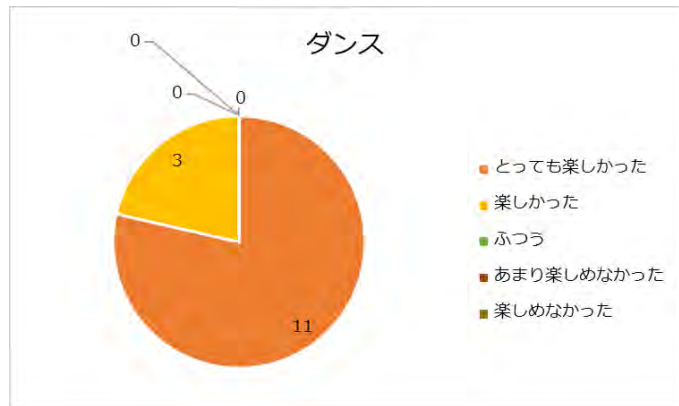


だいた。初めての子どもが大半であったが、けがをすることなく、笑顔で個性的なアレンジを楽しむことができた。

できたアレンジを、Web カメラを通して、先生に見せている様子。一人一人、良いところをほめられ、とてもうれしそうにしていた。

3) 体を動かすダンス遊び

・ 2 回開催：1 回目 6 人、2 回目 7 人 総 13 人参加



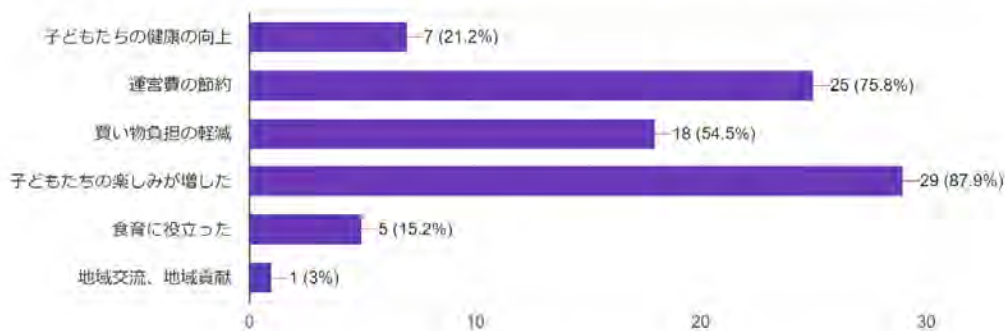
5.子ども食堂への満足度調査結果

1年間の活動を通じ、当団体が支援する子ども食堂へ向けたアンケート調査を行い、その満足度を測った。結果は以下のとおりである。

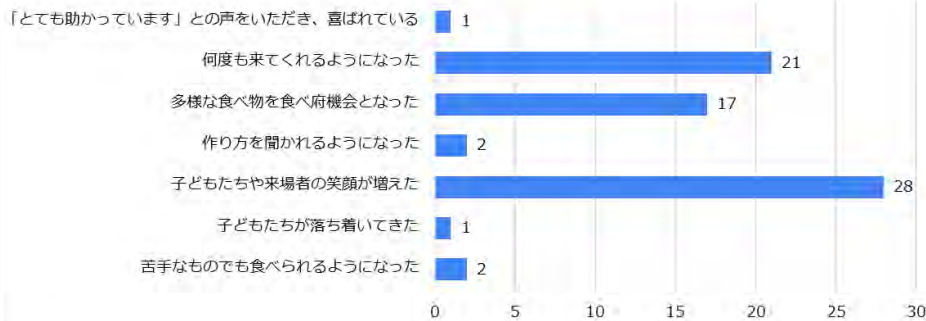
①【食品について】提供している食品は、子ども食堂の運営にどのように役立っていますか？（複数回答可）

1.定期的な食品提供について ふくおか子ども食...営にどのように役立っていますか？（複数回答可）

33件の回答

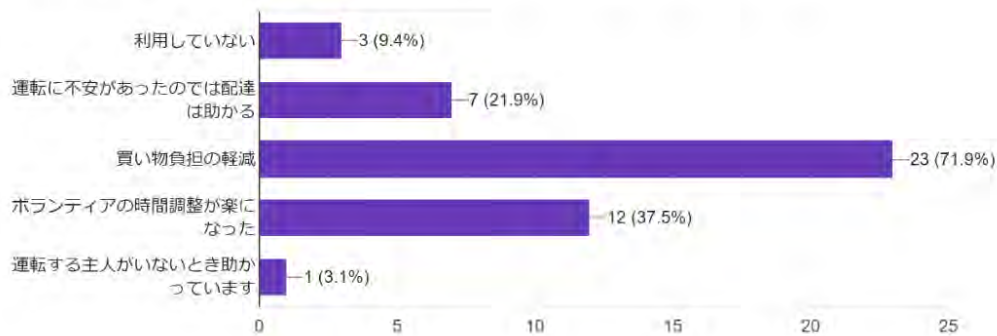


②【食品について】提供している食品で、子どもたちや来場者にどういった影響がありましたか？（複数回答可）

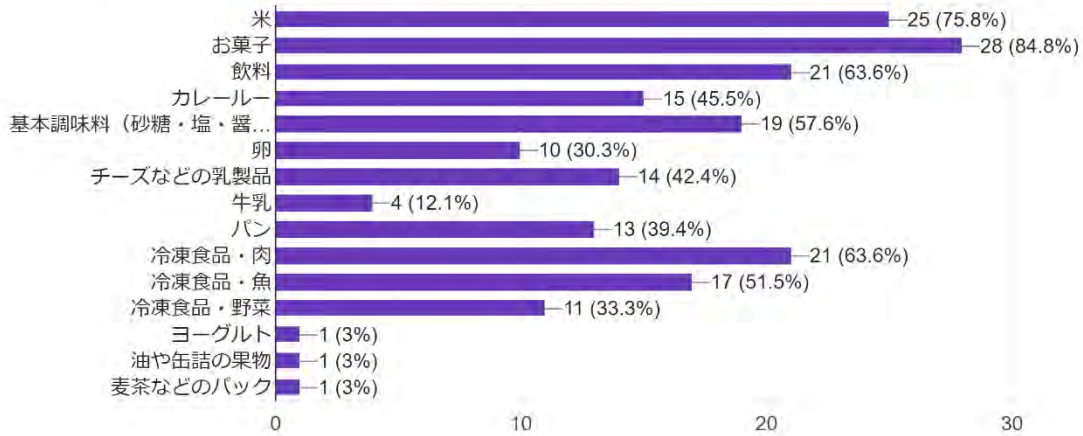


③【配達について】定期的に食品を配達することで、運営にどのように役立っていますか？

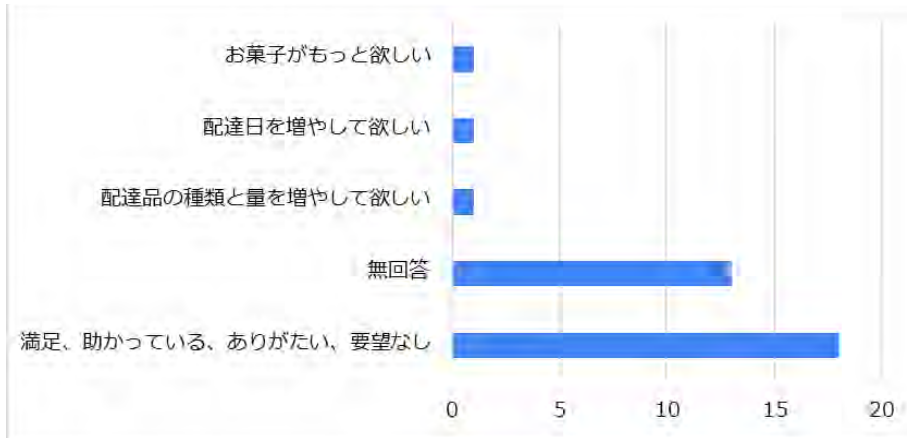
32件の回答



④【食品について】どんな食品を希望しますか？（複数回答可）

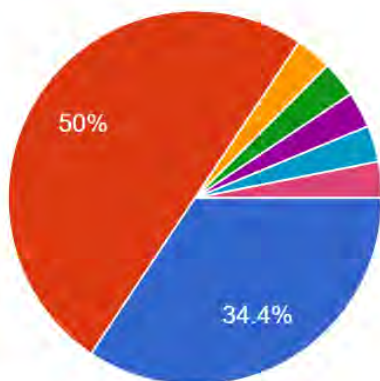


⑤【配達について】配達についてご希望はありますか？



2.情報交換会、シンポジウムについて

①【シンポジウム】毎年シンポジウムを開催しますが、参加したいと思いませんか？（子ども食堂関係者の参加料は無料です）

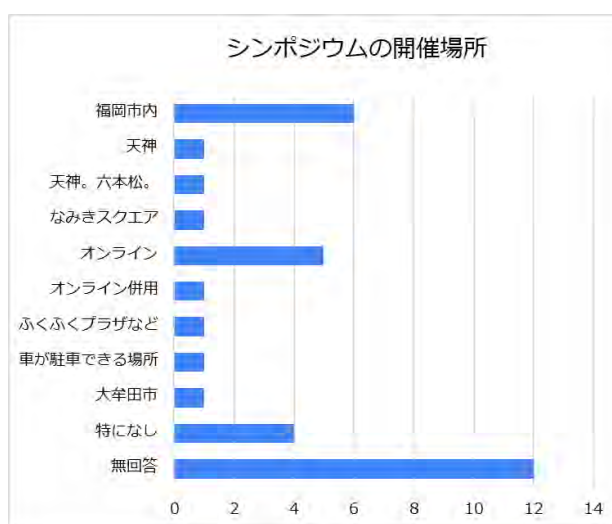


- 参加したい
- 検討したい
- 参加したくない
- 時間が合えば参加可能
- 検討したいのですが他のボランティアと重なり参加が難しい
- 参加するのが望ましいと考えるが、日々の活動に追われ時間的余裕がない。
- 参加が難しく、申し訳なく思っています。

②【シンポジウム】開催テーマや内容は、どんなものがいいですか？誰の話を聞きたいですか？

無回答	11	
特になし	5	
子どもの貧困	2	
子ども食堂関係 (9)	事業継続	1
	運営方法	2
	本当に困ってる子どもにこの活動が届く工夫。参加しやすくする工夫。	2
	ボランティアの体験談	1
	個人でされてる方などの話	1
	地域の居場所づくり	1
	子ども食堂を運営するに当たっての課題と将来性、地域連携の実態と成功例、子ども食堂運営者	1
情報交換	1	
以前支援してもらってた方が支援する側に回った方が居たらそのお気持ちと経験のお話を聞かせてほしい。	1	
乳児院、児童養護施設、自立援助ホーム等子どもの現状	1	
子どもに関わる行政側の方に現状について	1	
自炊塾、比良松教授（九大）	1	
こども家庭庁の概要や子どもの権利条約	1	
ヤングケアラー	1	

③④【シンポジウム】開催場所や開催曜日や時間



無回答	12
夜	1
日中の時間	1
秋ごろ、午後	1
平日の午前中か午後の早い時間	0
平日または夜	1
平日午前、平日昼	1
平日か日曜日	1
平日	1
土日の昼間	1
土日祭日希望	1
土日	3
いつでも	3
特になし	6

⑤【シンポジウム】子ども食堂以外に、どんな人に話を聞いてほしいですか？ 逆に、どんな立場の人の話を聞きたいですか？

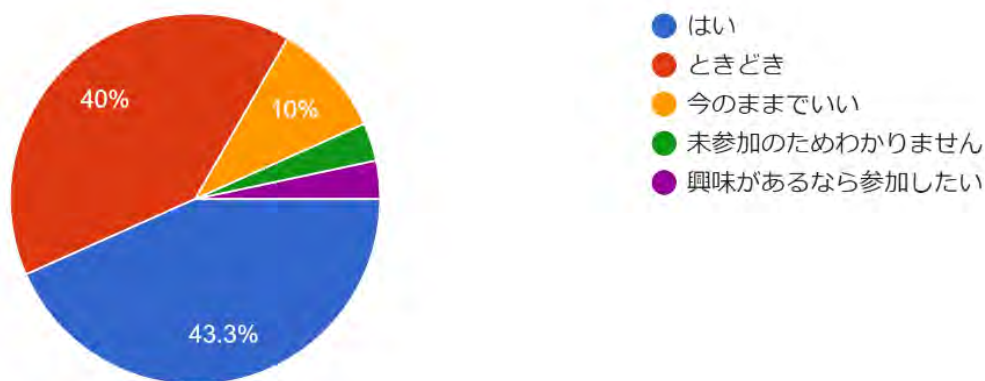
行政が、なにをどう、どこまで関われるのか。
子ども食堂取材しているメディア関係者の話をお聞きしてみたいです
スクールソーシャルワーカー
地域住民に聞いて欲しい。実際、養護施設等で働く職員の話や施設の子どもの話を聞いてみたいと思います。
一般の方（2）
他の校区の子ども食堂の運営状況
政治家
社会福祉協議会、行政職員
市の担当者
ひきこもり不登校支援
校長、自治会会長
雨宮処凛
子どもに関する活動をしている人の話
幼稚園、保育園、小学校の先生、地域の委員の方
大学生とか、高校生

⑥【情報交換会】本年度は3回開催しました。

開催曜日・時間、話し合いたいこと、学びたいことなど、ご希望をお願いします。

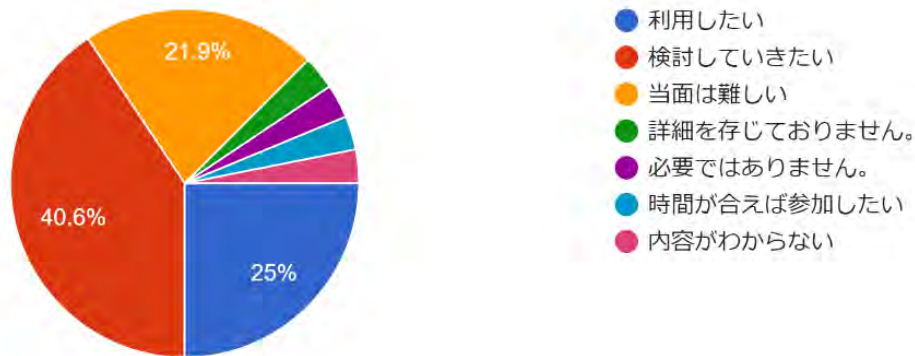
同じような立場の方のお話をお聞きしてみたいです
学生を複数人参加させたい
平日の午前中または、午後の早い時間が良い。
他の子ども食堂とカタチが違っているので、参加しにくいです
土日祭日開催希望
朝食、夕食などやってある方の話

⑦【情報交換会】今は子ども食堂だけの会ですが、社会福祉協議会や福岡市の参加は、ご希望ですか？



3.子どもの体験的学習について

①利用したいと思いますか？



②「当面は難しい」と答えられた方にお尋ねします。その理由は何ですか？

内容がわからない。

時間と教えてくださる方は現在いない。

今できることを、できる範囲で、取り組む。

現行の活動で精一杯なので。

仕事をしてるので調整がむずかしい

スタッフが変動するため対応が難しいと思われる

会場が遠いと難しい

③「利用したい」、「検討していきたい」と答えられた方へお尋ねします。どういったプログラム内容がご希望ですか？

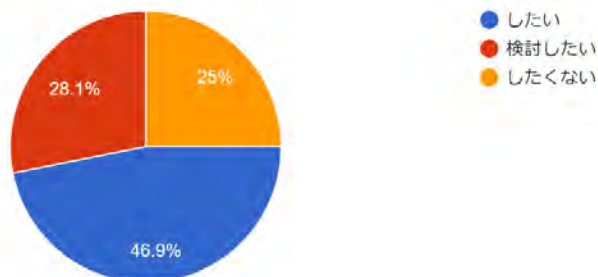
身体表現・ダンス	3	
フラワーアレンジメント	2	
お菓子づくり・料理教室作り	2	
美術鑑賞	2	
体験型ものづくり	2	
親子講座	1	
子ども達とボランティアなどとの交流のあり方等		
子どもが気軽に来れること	1	
子どもが喜ぶプログラム	1	
押し花	1	
野外活動	畑仕事	1
	動物飼育	1
人形劇	1	
他地域の子どもやボランティアさんとの交流会	1	

④「利用したい」、「検討していきたい」と答えられた方へお尋ねします。利用するとしたら、時期や曜日、時間帯はいつがいいですか？

子どもの居場所づくりの日	2
長期休み	3
土曜日	9
日曜日	3
祝日	3
平日	1
春	1
秋	2

4.企業からのご支援について

①企業からの支援を利用したいと思いますか？



②「利用したい」、「検討したい」と答えられた方へお尋ねします。どういった内容であれば利用しやすいですか？配慮してほしいことは、どういったことですか？（自由記載）

体験 3	(食品の) 作り方を一緒に体験させたい 試食・アレンジ料理など 食事作りや学習支援のボランティア
配慮 3	多人数だと子どもが萎縮するので2-2人くらいの訪問にして頂きたい。 個人情報保護に配慮してもらいたい 子どもたちの肖像権にご配慮いただけたら助かります。
食品・食事提供 6	月に一度の子ども食堂開催なので、開催日前日などに受け取れるような配慮があれば…保管場所がないため こどもの日、クリスマスなどイベントにちなんだ食品や料理の提供。 食材・食品の提供 4 お弁当 1 子ども向きおやつ、お菓子 1 必要な品数かもしくは何日かで消費可能な量 1
その他の寄付 2	お金の寄付 1 その他の寄付 1
複合型	キッチンカー 2
ボランティア 2	イベント開催時の手伝い。内容などはこれからの検討課題。 ボランティア
5. その他 その他 3	これからは企業さんと連携した活動に少しずつ取り組んでいければと考えています。 どういうふうに取り組めるかはこれからの課題だと思います。 こちらのプログラムとあった場合。 ボランティア対応の余裕がない。

①ふくおか子ども食堂ネットワークや子ども食堂が活動を続けていくにあたり、今後必要となることは何だと思えますか？不安に思っていることは何ですか？（自由記載）

不安はない3	
運営 6	安定した運営のための、場所、資金、マンパワー
	運営費（会場費、光熱費など）の確保
	運営、子ども食堂維持のための費用
	資金の確保
	運営の在り方
	運営組織の安定化
人材 2	継続するための後継者
	人材の確保
子どもたちへのリーチ 2	本当に経済的に、子どもの居場所的に、困っている家庭、子どもの発見やめぐり逢い。
	本当に困っている人は声を出せず、来れないのでは、と思うので、その人たちとの繋がり
食材の配達	
食材の確保	
場所	
活動がマンネリ化しないこと	
組織的にはしっかりしていますが、ボランティアの入れ替わりが、少しずつ必要に感じています。	
食料品の提供だけではなく、支援したいと考えていらっしゃる店舗の方に食事の提供とかもあったら良いのではないかと思います。	
いろいろな意見を聞いてもらえるので感謝です。いいムードだと思いま	
食と人の支援ネットワーク	
広報	
情報の交換	
お金、人が不足するのではないか？	
子ども達と料理しているが衛生面、怪我など細心の注意を払っているがやはり不安はある。同意見です。	

②その他、ふくおか子ども食堂ネットワークへのご要望・感想があればお願いします。(自由記載)

食材の受取りで、野菜類を希望
いつもとても助かっています。子どもたちは届けて頂くお菓子などとても楽しみにしています。ありがとうございます。
本当に困っている人に思いが届いていないことを実感しています。困っているだろう人たちがつながっている機関などへの呼びかけや、情報提供などをしていただけると(子ども食堂マップなど)、困っている人たちの選択肢ができるのではないかと思います。
いつも大変お世話になっております。お米やカレーなど、これからも定期的にいただけると助かりますし、安心します。カレーは、甘口だけでなく、辛口もあると嬉しいです。缶詰(ツナやトマト・フルーツなど)もあると嬉しいです。
いつもお世話になってます。これからも継続的な支援を望みます。
ご辞退することもあります。「必要なところが利用されますように。」との思いからです。ありがとうございます。
子ども達に美味しいものをいっぱい食べてもらって笑顔の輪を大きく広げたいのと同じ目標を掲げてるネットワークの交流を通してより良い子ども食堂を目指していきたいと思います。
ありがとうございます。
研修会や報告会等活動の参考になり助かります。学習支援の充実に向けて教えてほしい。
いつもありがとうございます。
お世話になります。
今までどうり支援お願いいたします。
特に無し、出来れば日本製でお願いします。
一度、食材の提供を受けました。とても助かりました。
特にはありません。食材の運搬はいつも助かります。
いつもありがとうございます。またの機会にはよろしくお願いいたします。
いろいろな食材や、おやつなどとても助かります。これからもよろしくお願いいたします。感謝しています。返信が遅くなりすみません🙇
いつもつながりを持たせていただき感謝です。今後も情報をご提供いただければ幸いです。